

## 創世記 21 章 22-34 節 寄留者としての生活

新年最初の日曜日です。私たちが 2020 年何処にいて、2021 年何処に行こうとしているのかと  
言うことに関して 重点的に取り組むべき時です。ほとんどの皆さんは 2020 年を過去の事として  
忘れさり前に進むことを望まれていると思いますが、コロナウィルス感染症のようにいまだ解決  
していない事柄もあり、2021 年も影響し続けるでしょう。わたしたちがこの新年に集中しよう  
とする時、神の摂理によって、アブラハムの生涯のうちで今日の私たちとは全く接点がないよ  
うな聖句に導かれました。本当に接点は無いですでしょうか。テモテへの手紙 第二 3 章 16 節 はこ  
う言っています。 **聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有  
益です。** 新年を迎えて、ちょうどアブラハムについての学びに当てはまり、私は何かほかの年  
初にふさわしいトピックも考えました。しかし、神には私たちが今ここに導かれた理由があると  
信じます。講解説教の素晴らしいところは神が御計画により私たちの焦点を神の御言葉の敷かれ  
たとおりに導かれることです。今日のアブラハムについての聖句を通して神はあなたと私が  
2021 年どのように生きるかを示されるメッセージを伝えられると信じています。まず、祈り、  
そして今日の神の御言葉に入り込みましょう。祈りましょう。

この 21 章の終わりにある物語全体の出来事を読んでいきましょう。

**22.そのころ、アビメレクとその軍の長ピコルがアブラハムに言った。「あなたが何をしても、  
神はあなたとともにおられます。23.それで今、ここで神によって私に誓ってください。私と私の  
子孫を裏切らないと。そして、私があるあなたに示した誠意にふさわしく、私にも、またあなたが寄  
留しているこの土地に対しても、誠意を示してください。」24.アブラハムは「私は誓います」と  
言った。25.それから、アブラハムは、アビメレクのしもべたちが奪い取った井戸のことで、アビ  
メレクに抗議した。26.アビメレクは答えた。「だれがそのようなことをしたのか知りませんでした。  
それに、あなたも私に告げなかったし、私も今日まで聞いたことがありませんでした。」27.  
そこでアブラハムは羊と牛を取って、アビメレクに与えた。こうして二人は契約を結んだ。28.ア  
ブラハムは、羊の群れから、七匹の雌の子羊を別にしておいた。29.アビメレクはアブラハムに言  
った。「今、あなたが別にしたこの七匹の雌の子羊は、何のためのものですか。」30.アブラハム  
は言った。「私がこの井戸を掘ったという証拠になるように、七匹の雌の子羊を私の手から受け  
取ってください。」31.それゆえ、その場所はベエル・シェバと呼ばれた。彼ら二人がそこで誓っ  
たからである。32.彼らはベエル・シェバで契約を結んだ。アビメレクと、その軍の長ピコルは立  
って、ペリシテ人の地に帰って行った。33.アブラハムはベエル・シェバに一本のタマリスクの木  
を植え、そこで永遠の神、主の御名を呼び求めた。34.アブラハムは長い間、ペリシテ人の地に寄  
留した。」**

アビメレクに関連する二つの出来事がイサクの誕生の実際の物語を間に挟みそれ以外のアブラ  
ハムの生涯から聖別しています。神は超自然的に 22 章にあるイサクをいけにえとする事とアブラ  
ハムの生涯の鍵となる出来事へと導くように出来事の記録を指示されました。この聖句の展開も  
実際それを指し示しているようです。この出来事にアブラハムの生涯の中で一つの鍵となる部分  
を除いてアブラハム契約の伏線または成就が近くさえ見えます。その部分は実際の世継ぎ、継承  
者です。彼はもうすでにこの時期には生まれていたことはわかっていますが、この話の中では彼  
には触れられていません。そのことが、22 章で彼を今一度見る時彼の存在をより重要とするので  
す。私は皆さんにこの聖句を見る時、アブラハムの祝福の前兆または早い成就と言う見方をし  
てほしいと思います。聖書の新約聖書の一部も含めた特に旧約聖書の預言を考える時、成就の二重  
性と言う概念があります。学者の中にはこれは実際に起こると信じていない人たちもいますが、  
聖書で多くの場合当てはまるように見えます。一つの完璧な例は、イザヤ書 7 章 14 節 のこの  
聖句です。 **それゆえ、主は自ら、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ、処女が身ごも  
っている。そして男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。** マタイの福音書 1 章 22-23 節  
を見るとこれがメシア、イエスの誕生であることが明白です。 **22.このすべての出来事は、主が預**

言者を通して語られたことが成就するためであった。23. 「見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」それは、訳すと「神が私たちとともにおられる」という意味である

マタイの福音書 1 章の関連句を見るとイエス・キリストの誕生はイザヤ記 7 章 14 節の最終的な成就であることが明白にされます。しかしながら、同じイザヤ記 7 章 16 節を見ると *それは、その子が悪を退けて善を選ぶことを知る前に、あなたが恐怖を抱いている二人の王の土地が見捨てられるからだ。*と、あたかもイザヤの生涯の間に預言が成就されることが示唆されます。イザヤ記 8 章に來ると、この預言がすぐに成就されるか、ほぼ成就に近い地点にあることがうかがわれます。イザヤ記 8 章 3-4 節は言います。 *3.それから私は女預言者に近づいた。彼女は身ごもって男の子を産んだ。すると、主は私に言われた。「その名をマヘル・シャルル・ハシュ・バズと名づけよ。*

*4.それは、この子が『お父さん。お母さん』と呼ぶことを知る前に、ダマスコの財宝とサマリアの分捕り物が、アッシリアの王の前に持ち去られて行くからである。』*

そのようなことがこの聖句でも起こっているようでした。神のアブラハムとの契約は私たちが最初にアブラハムを紹介された時に見たことを思い出してください。創世記 12 章 1~3 節 *1.主はアブラムに言われた。「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。2.そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。3.わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。地のすべての部族は、あなたによって祝福される。*

この約束、この契約でアブラハムが偉大な人に変えられることを知りました。それをここで知ります。アビメレクは当地の王で彼の武将と共にアブラハムのところに行きアブラハムが彼らを好意的に扱うように同意を得ようとしていました。一国の支配者が母国もなく、彼の脅威となっている他の王を代表もしていない誰かとこのようなことをする唯一の理由はアブラハムがこの地域で深く尊敬されるにふさわしい重要な人だったことです。アビメレクからしてみればもしアブラハムが力づくで彼の領地を奪おうとすればどんなことが起こるか恐れさえしたのかもしれませんが。そして思い出すべきはアブラハムが最初にペリシテの領土に來た時彼はアビメレクにサラに関して偽りました。私が指摘したようにアビメレクは真の神の信仰を持つ人、つまり神に従っているようであったということです。古代世界には、アブラハム以外にも神が私たちに告げることを望まれなかった信者がおそらく多数存在した可能性が高いと思われますが、彼らは全員アブラハムと共通することが一つありました。彼らは神が義と認められた彼らの神への信仰によって救われていたことです。

この聖句で、神のアブラハムへの約束の一部である、他の人たちも祝福を受けるのを見ます。23 節でアビメレクがアブラハムに彼を好意的に扱うよう、または祝福するよう頼むところでそれを見ます。こう書かれています。 *そして、私があなたに示した誠意にふさわしく、私にも、またあなたが寄留しているこの土地に対しても、誠意を示してください。*そして最後に神の約束に含まれた土地についての約束さえ見ます。アブラハムがアビメレクに宣誓した約束に続く出来事全体の要点はこの井戸のある土地は永続的にアブラハムの所有であるということです。25-30 節で何が起こるか見てください。 *25.それから、アブラハムは、アビメレクのしもべたちが奪い取った井戸のことで、アビメレクに抗議した。26.アビメレクは答えた。「だれがそのようなことをしたのか知りませんでした。それに、あなたも私に告げなかったし、私も今日まで聞いたことがありませんでした。」27.そこでアブラハムは羊と牛を取って、アビメレクに与えた。こうして二人は契約を結んだ。28.アブラハムは、羊の群れから、七匹の雌の子羊を別にしておいた。29.アビメレクはアブラハムに言った。「今、あなたが別にしたこの七匹の雌の子羊は、何のためのものですか。」30.アブラハムは言った。「私がこの井戸を掘ったという証拠になるように、七匹の雌の*

子羊を私の手から受け取ってください。」ここでは実際二つの別々の合意がなされました。最初の合意はアブラハムとアビメレクとの間のもの、そして一番目に続く二番目の出来事ではアブラハムがなぜアビメレクの僕がアブラハムが掘った井戸を奪ったのかを問うたことです。アブラハムのここでの行為は実際アビメレクの創世記 20 章 14-16 節での行為を同じように映し出しています。創世記 20 章 14~16 節 14.アビメレクは、羊の群れと牛の群れと、男女の奴隷たちを連れて来て、アブラハムに与え、またアブラハムの妻サラを彼に返した。15.アビメレクは言った。「見なさい。私の領地があなたの前に広がっている。あなたの良いと思うところに住みなさい。」16.サラに対しては、こう言った。「ここに、銀千枚をあなたの兄に与える。これはあなたにとって、また一緒にいるすべての人にとって、あなたを守るものとなるだろう。これであなたは、すべての人の前で正しいとされるだろう。」アブラハムの物語のこの部分では後継者を見ることは出来ませんが、イサクはこの時期もうすでに生まれており、アブラハムの人生にあったのです。これは神のアブラハムとの契約の成就の予兆だったかもしれませんが、究極の成就ではありません。イサクは彼の家族に祝福を与えたかもしれませんが、アブラハムの未来の子孫、イエス・キリストのみが真に世全体を祝福されます。アブラハムの子孫がいずれなる民の国家はまだ未来の事でした。そして、彼らがやがて与えられる土地は砂漠の小さな水の井戸を遥かに超えるものです。旧約聖書で預言がどのような役割を果たすかを理解することは聖書を理解するうえで重要ですが、現時点この説教で実質的にはあまり取り込めることはないかもしれません。しかしこの聖句には私たちキリストを知る者に変化をもたらす一つ他の適用があります。私たちがそれを真に信じて実践すれば私たちの 2021 年の生活も変えることができます。その真理は、私たちは私たちの故郷ではないこの世においては外人なのです。34 節の最後のフレーズを見てください。34.アブラハムは長い間、ペリシテ人の地に寄留した。アブラハムはこの小さな井戸を所有していた間もいまだ寄留者であり、実にこのペリシテの地には属さぬ外人でした。ヘブル人への手紙 11 章 8~13 節は、アブラハムの生涯について語る時この点をととても明確にしました。神は御言葉でこう語っています。

8.信仰によって、アブラハムは相続財産として受け取るべき地に出て行くようにと召しを受けたときに、それに従い、どこに行くのかわからずに出て行きました。9.信仰によって、彼は約束された地に他国人のようにして住み、同じ約束をとともに受け継ぐイサクやヤコブと天幕生活をしました。10.堅い基礎の上に建てられた都を待ち望んでいたからです。その都の設計者、また建設者は神です。11.アブラハムは、すでにその年を過ぎた身であり、サラ自身も不妊の女であったのに、信仰によって、子をもうける力を得ました。彼が、約束してくださった方を真実な方と考えたからです。12.こういうわけで、一人の、しかも死んだも同然の人から、天の星のように、また海辺の数えきれない砂のように数多くの子孫が生まれたのです。13.これらの人たちはみな、信仰の人として死にました。約束のものを手に入れることはありませんでしたが、はるか遠くにそれを見て喜び迎え、地上では旅人であり、寄留者であることを告白していました。

アブラハムと彼の家族であるサラ、イサク、彼の孫のヤコブでさえ、神と民として彼らがこの地上のどこに行ってもよそ者でした。そしてヘブル人への手紙の作者はそれは彼らの神への信仰のゆえであるとしています。その事実は変わっていません。イエス・キリストへの信仰を通して神の民となった私たちは、この世では外人です。イエス・キリストを受け入れていない私たちの周りの人々と私たちはものの見方も考え方も決して同じではないので、私たちは常にある一定の不快感や居心地の悪さを覚えるべきです。もし、2020 年が何か非常にはきりとさせたとしたら、それはこの世が混乱していることです。ウィルスや世界的流行などの肉体的問題の世界です。台風、ハリケーン、地震、洪水などの自然災害と戦争やテロリズムなど人為的災害の世界です。政治的混乱は人々を左右に分断しました。傲慢と貪欲が私たちの時代の話し合いを支配しているようです。しかし、真の恐怖も世の社会の多くを通して横行しています。人種的憎悪と差別はいまだに世の多くの場所で人々を分断しています。教会さえもこれらの分断要因に影響されます。罪と罪を普通であり問題ないと受け入れることは多くの国々で法律効力によって推進され、国際法を通して奨励されてさえいます。これが 2021 年を迎えるにあたって私たちが存在して

いる世です。しかし、これが私たちが属する世ではありません。アブラハムのように私たちは神と契約している民です。私たちは神によって私たちのために設計され建てられた家に属します。この世は私たちにとり一時的な寄留の場所のように感じるべきです。私たちはこの新年 2021 年を迎えてどのように生きるよう召されているのでしょうか。この寄留者としての生活はどのようなもののでしょうか。それは私たちが常に神の民として、礼拝する民として、私たちの神を礼拝することに献身する生活です。それをここでアブラハムに見ます。33 節は言います。 **33.アブラハムはベエル・シェバに一本のタマリスクの木を植え、そこで永遠の神、主の御名を呼び求めた。** アブラハムはいま自分の物と言える土地を所有していました。しかし、彼は彼の人生で記念すべき出来事があると常にしてきたように、この出来事も礼拝のしるしで祝いました。以前は、祭壇でしたが今回は木です。私たちのこの世での生涯は一つの場所に焦点を合わせるべきです。それは、神の栄光です。ですから、私たちの教会のビジョンもそこから始まっているのです。 **私たちの使命は、言語や文化の如何にかかわらず、互いに愛をもって仕え合い、一致し、祈り心を持ち、聖書をとおしてキリストの弟子を整えることにより、また、イエス・キリストを信じる者および新しい教会を生み出すことによって、神の栄光を現す事です。**

私たちは今日アブラハムが仕えたと同じ神に仕えています。私たちは、アブラハムが **主の御名を呼び求めた**と伝えられています。そして、彼が呼んだ名前はヘブル語でエル・オラム、永遠なる神です。神はアブラハムのためにそこにおわし、彼の道を導き、奇跡的に息子を与え、彼の生活の糧を与え、富さえも与えました。その同じ神は永遠よりおわし、永遠なる神は今日もおわし、2021 年とそれ以降もあなたの歩みを導かれます。そうです。今年もあなたは家族を養うために働かなければなりません。その仕事は神が与えられました。あなたが学生であれば、2021 年はあなたの将来に神が敷かれているあなたのための道に必要な知識を得るために必要な機会を与え続けて下さる年になるでしょう。親御さんであるあなたはあなたの子供たちがキリストを知り従うよう指導するよう召されています。夫や妻であるあなたは 2021 年においても、伴侶と互いに愛し敬うよう召されています。仕事、教育、家族やあなたが考えつくそれ以外のもの全ての領域であなたの時間を必要とします。しかし、それらはすべて不十分な私たちの礼拝の代替です。教会に関連することであっても、すべてにおいて私たちのすることは神の礼拝に導くか、又は、神の礼拝から来るべきです。ですから、私たちは 2021 年の教会生活を祈りと断食の一週間で始めるのです。

神は私たちの仕事、私たちの教育、私たちの家族、そして私たちの教会に於いてすべての礼拝と賛美にふさわしい御方なのです。神は私たちの真の王であり、神の内に私たちの真の我が家があるからです。この世と世の私たちに対するすべての要求は私たちの真の我が家のものではありません。私たちは単なる寄留者であり、どの国に住んでいようとも、どこの国籍を有していても外人です。ですから、2021 年で、私はあなたにアブラハムの例に従うよう勧めます。同じ知識を持って生活し、アブラハムがそうであったようにあなたもこの地上でよそ者、寄留者としてその知識を反映する行動を実践してください。祈りましょう。

## Genesis 21:22-34 Life as an exile

Today is the first Sunday of the new year. It is a time to focus on where we have come from in 2020 and where we will go to in 2021. And, while I would say most of us would like to put 2020 behind us, some things have not resolved and will continue to influence 2021, like COVID. And today in God's providence when we are focused on this new year, God has directed us to a passage of scripture in the life of Abraham that seems to have almost nothing to do with where we find ourselves today. Or does it? [2 Timothy 3:16](#) says, [16 All Scripture is breathed out by God and profitable for teaching, for reproof, for correction, and for training in righteousness.](#) I thought about doing something else for New Year's today when I saw where we landed in our study of Abraham, but I believe that God has us here for a reason, and the great part of Expository Preaching is that God guides our focuses by how He has laid out his word. In this passage today, I believe God has a message for us through Abraham of how he plans for you and I to live in 2021. *Let's pray and then dive into the Word of God today.*

Let's begin by reading the entire story of the events here at the end of Chapter 21 <sup>22</sup> At that time Abimelech and Phicol the commander of his army said to Abraham, "God is with you in all that you do. <sup>23</sup> Now therefore swear to me here by God that you will not deal falsely with me or with my descendants or with my posterity, but as I have dealt kindly with you, so you will deal with me and with the land where you have sojourned." <sup>24</sup> And Abraham said, "I will swear." <sup>25</sup> When Abraham reproved Abimelech about a well of water that Abimelech's servants had seized, <sup>26</sup> Abimelech said, "I do not know who has done this thing; you did not tell me, and I have not heard of it until today." <sup>27</sup> So Abraham took sheep and oxen and gave them to Abimelech, and the two men made a covenant. <sup>28</sup> Abraham set seven ewe lambs of the flock apart. <sup>29</sup> And Abimelech said to Abraham, "What is the meaning of these seven ewe lambs that you have set apart?" <sup>30</sup> He said, "These seven ewe lambs you will take from my hand, that this<sup>[c]</sup> may be a witness for me that I dug this well." <sup>31</sup> Therefore that place was called Beersheba,<sup>[d]</sup> because there both of them swore an oath. <sup>32</sup> So they made a covenant at Beersheba. Then Abimelech and Phicol the commander of his army rose up and returned to the land of the Philistines. <sup>33</sup> Abraham planted a tamarisk tree in Beersheba and called there on the name of the Lord, the Everlasting God. <sup>34</sup> And Abraham sojourned many days in the land of the Philistines.

The two events involving Abimelech bookend the actual story of the birth of Isaac and set it apart from the rest of Abraham's life. God supernaturally directed the recording of the events in this way in order to lead up to the key event of Abraham's life that comes in chapter 22, the sacrifice of Isaac. The way this passage is laid out may actually point to that as well. In this event, we actually see a foreshadowing or even a near fulfillment of the Abrahamic covenant during Abraham's lifetime with exception of one key part. That part being the actual heir. We know that he has been born by this time, but there is no mention of him in this episode, which makes his presence even more important when we see him again in Chapter 22. **I want us to first look at this passage today as this foreshadowing or even early fulfillment of the Abrahamic blessing.**

When you consider Prophecy in the Bible, especially that in the Old Testament as well as possibly parts of New Testament prophecy, there is a concept known as "double fulfillment." Some Scholars do not believe this actually happens, but it seems to fit much

of what we see in the Bible. One perfect example is the passage in [Isaiah 7:14](#) that says, [Therefore the Lord himself will give you a sign. Behold, the virgin shall conceive and bear a son, and shall call his name Immanuel.](#) When we look at [Matthew 1:22-23](#), it is clear that this is a prophecy of the Messiah, Jesus' birth. It says, [22 All this took place to fulfill what the Lord had spoken by the prophet: 23 "Behold, the virgin shall conceive and bear a son, and they shall call his name Immanuel" \(which means, God with us\).](#) Seeing the passage reference in Matthew 1 makes it clear that the birth of Jesus Christ is the long or ultimate fulfillment of Isaiah 7:14. However, when we look at verse [16 of Isaiah 7](#), where we read, [16 For before the boy knows how to refuse the evil and choose the good, the land whose two kings you dread will be deserted,](#) it seems to indicate that there would be a near fulfillment of that prophecy that would happen in Isaiah's lifetime. And when we get to Isaiah 8, we see this prophecy which seems to be fulfilled right away or have that near fulfillment. [Isaiah 8:3-4](#) says [3 And I went to the prophetess, and she conceived and bore a son. Then the LORD said to me, "Call his name Maher-shalal-hash-baz; 4 for before the boy knows how to cry 'My father' or 'My mother,' the wealth of Damascus and the spoil of Samaria will be carried away before the king of Assyria."](#)

There seems to be some of this going on in this passage. Remember that God's Covenant with Abraham is seen when we are first introduced to Abraham in [Genesis 12:1](#). It says, [1 Now the LORD said to Abram, "Go from your country and your kindred and your father's house to the land that I will show you. 2 And I will make of you a great nation, and I will bless you and make your name great, so that you will be a blessing. 3 I will bless those who bless you, and him who dishonors you I will curse, and in you all the families of the earth shall be blessed."](#) In this promise, this covenant, we see that Abraham will be made into a great man. We see that here. Abimelech, the local king and his military commander come to Abraham to try make an agreement with him that he will treat them kindly. The only reason a ruler would do this with someone who doesn't have his own country or represent another king that is threatening him is that Abraham on his own was an important person deserving a great respect in that area. There may have even been some fear on Abimelech's part of what would happen if Abraham tried to forcefully take over some land. We also need to remember as I pointed out when Abraham first came to Philistine territory and lied to Abimelech about Sarah that Abimelech seems to have been a follower of God in other words a man of faith in the true God. There were likely plenty of other believers in the ancient world other than Abraham that God did not choose to tell us much about, but they would have all had one thing in common with Abraham. They were saved by their faith in God, which God counted as righteousness.

We also see blessing for others in this passage, which was part of the promise God made to Abraham. We see this aspect in verse 23 where we Abimelech asks Abraham to deal kindly with him or bless him. It says, [but as I have dealt kindly with you, so you will deal with me and with the land where you have sojourned.](#) And finally, we see even the aspect of land that was included in God's promise. The point of the whole episode that follows the sworn promise that Abraham makes with Abimelech is that this piece of land with the well on it is permanently owned by Abraham. Look at what happens between verses 25-30. [25 When Abraham reproved Abimelech about a well of water that Abimelech's servants had seized, 26 Abimelech said, "I do not know who has done this thing; you did not tell me, and I have not heard of it until today." 27 So Abraham took sheep and oxen and gave them to Abimelech, and the two men made a](#)

covenant.<sup>28</sup> Abraham set seven ewe lambs of the flock apart. <sup>29</sup> And Abimelech said to Abraham, “What is the meaning of these seven ewe lambs that you have set apart?” <sup>30</sup> He said, “These seven ewe lambs you will take from my hand, that this<sup>[c]</sup> may be a witness for me that I dug this well.” There are really two separate agreements going on here. There is the initial agreement between Abraham and Abimelech and then this second event after the first where Abraham questions why Abimelech’s servants took his well that he had dug.

Abraham’s actions here actually mirror in a similar way Abimelech’s actions in [Genesis 20:14-16](#). It says, [14 Then Abimelech took sheep and oxen, and male servants and female servants, and gave them to Abraham, and returned Sarah his wife to him. 15 And Abimelech said, “Behold, my land is before you; dwell where it pleases you.” 16 To Sarah he said, “Behold, I have given your brother a thousand pieces of silver. It is a sign of your innocence in the eyes of all\[a\] who are with you, and before everyone you are vindicated.”](#) Although we do not see an heir in this particular part of Abraham’s story, we know that Isaac has already been born and is present in Abraham’s life. While this may have foreshadowed the fulfillment of God’s covenant with Abraham, this was not the ultimate fulfillment. Isaac may have blessed his family, but only the future descendant of Abraham, Jesus Christ would truly bless all the world. The nation of people that Abraham’s descendants would become was still in the future, and the extent of the land they would eventually be given would go far beyond a single well of water in the desert.

While understanding the way that prophecy functions in the Old Testament is important to our understanding of the Bible, I know that there may not be much practically for you to grab onto at this point in this sermon. But there is one other application in this passage that makes a difference for each of us who know Christ, and could change our lives in 2021 if we would truly believe it and live it out. The truth we see here is this: **We are outsiders in a world that is not our home.** Look at the final phrase in verse 34.

<sup>34</sup> [And Abraham sojourned many days in the land of the Philistines.](#) Even while owning this small piece of land, Abraham was still a sojourner, an alien who did not truly belong here in this nation of Philistines. [Hebrews 11:8-13](#) makes this point very clear when talking about Abraham’s life. There God tell us in His Word, [8 By faith Abraham obeyed when he was called to go out to a place that he was to receive as an inheritance. And he went out, not knowing where he was going. 9 By faith he went to live in the land of promise, as in a foreign land, living in tents with Isaac and Jacob, heirs with him of the same promise. 10 For he was looking forward to the city that has foundations, whose designer and builder is God. 11 By faith Sarah herself received power to conceive, even when she was past the age, since she considered him faithful who had promised. 12 Therefore from one man, and him as good as dead, were born descendants as many as the stars of heaven and as many as the innumerable grains of sand by the seashore. 13 These all died in faith, not having received the things promised, but having seen them and greeted them from afar, and having acknowledged that they were strangers and exiles on the earth.](#)

Abraham and even his family, Sarah, Isaac and Jacob his grandson as God’s people were strangers no matter where they went on earth. And the writer of Hebrews directly attributes that to their faith in God. That fact has not changed. As people of God through faith in Jesus Christ, we are strangers in this world. There should always be a

level of discomfort that we have, because we never look or think exactly like the rest of those around us without Jesus Christ. If there is one thing that 2020 made extremely clear, it is that this world is a mess. It is a world of physical problems like viruses and pandemics. It is a world of natural disasters like typhoons, hurricanes, earthquakes, floods and manmade disasters of war and terrorism. Political turmoil divides people into this side or that side. Arrogance and greed seem to rule many of the discussions of our day, but also real fear is rampant throughout much of the world. Racial hatred and discrimination still divides people in many places in this world and even the church is not immune to these divides. Sin and accepting sin as normal and good is promoted through the force of law in most countries of the world and even encouraged through international law. This is the world that still exists as we enter 2021. But this is not the world that we belong to. Like Abraham, we are God's covenant people. We belong to a home designed and built for us by God, and this world should feel like a temporary place of exile for us. How are we called to live then as we enter this new year of 2021? What does this life of being an exile look like? It is the same as we are called to live all the time as God's people- as people of worship, whose lives are devoted to the worship of our God. This is what we see Abraham do. Verse 33 says, <sup>33</sup> **Abraham planted a tamarisk tree in Beersheba and called there on the name of the Lord, the Everlasting God.** Abraham now had a piece of land that he could call his own, but he did exactly the same thing he has always done to commemorate major events in his life, he marks the occasion with a sign of worship. Before it was altars, but now it is a tree. Our life in this world should be focused in one place, the glory of God. It is why our vision for our church begins there when it says **that Our vision is to glorify God by prayerfully equipping followers of Christ through the Word of God to serve each other in loving unity regardless of language or culture and reproduce in new believers and new churches.**

We serve the same God today that Abraham served. We are told that Abraham **called there on the name of the Lord** and then the name that he is called in this passage in Hebrew is El Olam – **Everlasting God**. God was there for Abraham, directing his path, miraculously providing a son, giving him provision for his life and even prosperity. That same God who existed from eternity, that Everlasting God, exists today to direct your steps in 2021 and beyond. Yes, this year you will have to work, as you do every year to provide for your family. God has provided you that job. And if you are a student, yes, 2021 will continue to be a year where God has given you the opportunity to continue to gain knowledge that he can use in the path he has laid out for you in the future. Parents, you continue to be called by God to shepherd your children to know and follow Christ. Husbands and wives are still called to love and respect their spouses in 2021. But while each of these areas, work, education, family and anything else you can think of may demand our time, they are a poor substitute for our worship. And even when it comes to church, everything we do must lead to and come from our worship of God. This is why we are beginning 2021 in the life of our church with a week of prayer and fasting. He deserves the place of worship and honor in our work, our education, our family and our church, because he is our true king and where our true home lies. This world and all its demands on us is not our true home. We are simply sojourners, aliens no matter what country we live in or what nationality we claim. And so in 2021, I urge you to follow Abraham's example and live with the same knowledge he had with actions that reflected that knowledge – that he was a stranger and exile on this earth. Let's pray.